



「確かな学力」の育成に向けて

R3 学力向上リーフレット
北部教育事務所

一人一人を確実に伸ばす授業

授業力の向上

組織力の向上

主体的・対話的で深い学びの推進

カリキュラム・マネジメントの推進

○児童生徒の変容

(「わかった」「できた」の実感)

何ができるようになるか

→学習内容の明確化(活動の目的が見える)

何を学ぶか

○指導と評価の一体化

→児童生徒が互いに考え、話し合い、
学び合う学習過程の充実

どのように学ぶか

めあて・見通し

学び合い

まとめ・振り返り

○協働体制(目標を共有する)

教員同士

家庭・地域

→年間指導計画等の見直し(教科等横断的な視点)

○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

→ICTを効果的に活用した授業の実践、効果的な
活用方法の共有

学力・学習状況調査の活用

学級経営

主体的・対話的で深い学び

学習方略の向上

非認知能力の向上

学力の向上

埼玉県及び全国学力・学習状況調査を活用した

学力向上PDCAサイクルの確立

→有効な手立て・取組の明確化と共有化(「活用リーフレット」:効果的な取組)

→「コバトンのびのびシート」「復習シート」「コバトン問題集」の効果的な活用

計画的に学習に取り組む活動(プランニング方略)
「苦手」などの感情をコントロールして学習への動機を
高める活動(努力調整方略) など

